

再商品化等の実施状況報告

「2022 年度(令和 4 年度)」

特定家庭用機器再商品化法に基づきJVCケンウッドが 2022 年(令和 4 年)4 月 1 日～2023 年(令和 5 年)3 月 31 日までの 1 年間に再商品化を実施した合計です。

品目 ブラウン管式テレビジョン受信機

特定家庭用機器廃棄物の再商品化等の合計

指定引取場所での引取台数	28,418 台
リサイクルプラントへの運搬台数	28,587 台
再商品化等処理台数	28,852 台
再商品化等処理重量	720t
再商品化重量	511t
再商品化率	70%

- 再商品化等処理台数及び再商品化等処理重量は、2022 年度(令和 4 年度)に再商品化等に必要な処理を実施した、特定家庭用機器廃棄物の台数及び重量の合計数値です。
- 値は小数点以下を切り捨てています。

施行規則第 47 条第 1 号に基づく再商品化等実績

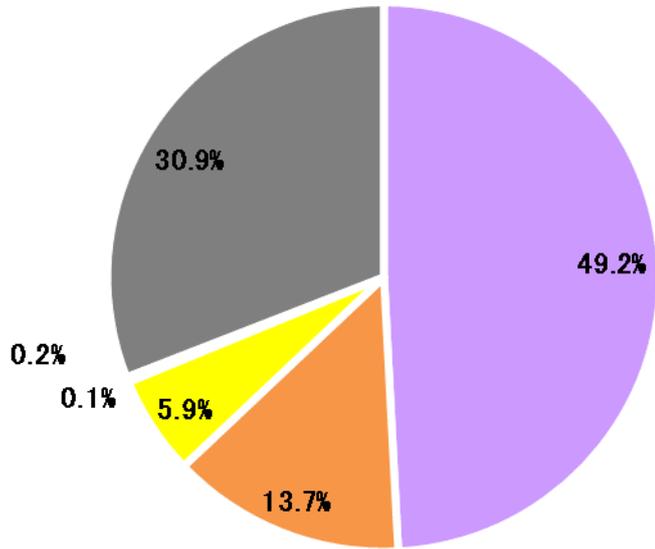
製品の部品又は材料として利用するものに、有償又は無償で譲渡し得る状態にした場合の当該部品及び材料の総重量。

素材	重量
鉄	70t
銅	29t
アルミニウム	0t
非鉄・鉄等混合物	0t
ブラウン管ガラス	251t
その他の有価物	158t
有価物総重量	511t

- 「その他の有価物」とはプリント基板、その他のプラスチックです。
- 値は小数点以下を切り捨てています。(小数点以下を切り捨てているため、合計計算値と総重量が合わない場合があります。)

再商品化素材の構成比(ブラウン管式テレビジョン受信機)

- ブラウン管ガラス:49.2%
- 鉄:13.7%
- 銅:5.9%
- アルミニウム:0.1%
- 非鉄・鉄混合物:0.2%
- その他の有価物:30.9%



品目 液晶式及びプラズマ式テレビジョン受信機

特定家庭用機器廃棄物の再商品化等の合計

指定引取場所での引取台数	24,761 台
リサイクルプラントへの運搬台数	24,844 台
再商品化等処理台数	24,956 台
再商品化等処理重量	413t
再商品化重量	349t
再商品化率	84%

- ・ 再商品化等処理台数及び再商品化等処理重量は、2022 年度(令和 4 年度)に再商品化等に必要な処理を実施した、特定家庭用機器廃棄物の台数及び重量の合計数値です。
- ・ 値は小数点以下を切り捨てています。

施行規則第 47 条第 1 号に基づく再商品化等実績

製品の部品又は材料として利用するものに、有償又は無償で譲渡し得る状態にした場合の当該部品及び材料の総重量。

素材	重量
鉄	137t
銅	4t
アルミニウム	11t
非鉄・鉄等混合物	22t
その他の有価物	173t
有価物総重量	349t

- ・ 「その他の有価物」とはプリント基板、その他のプラスチックです。
- ・ 値は小数点以下を切り捨てています。(小数点以下を切り捨てているため、合計計算値と総重量が合わない場合があります。)

再商品化素材の構成比(液晶式およびプラズマ式テレビジョン受信機)

